

主 文

本件特別抗告を棄却する。

理 由

抗告人らの特別抗告理由（後記）について。

所論 1 および 2 は、原判示に副わない事実を前提とする違憲の主張であり、所論 3 は、違憲をいう点もあるが、その実質は単なる法令違反の主張に帰し、いずれも適法な特別抗告の理由に当たらない。

よつて、刑訴四三四条、四二六条一項により、裁判官全員一致の意見で主文のとおり決定する。

昭和三八年四月一七日

最高裁判所第一小法廷

裁判長裁判官	下 飯 坂	潤 夫
--------	-------	-----

裁判官	入 江	俊 郎
-----	-----	-----

裁判官	斎 藤	朔 郎
-----	-----	-----